

ほけんだより 2月

ここ最近、寒暖の差が激しく、花粉症の季節にもなり、体調管理がとても難しいですね。しっかりと感染症対策を

して残り少ない学校行事に全員そろって参加でき、よい学年の締めくくりができるといいですね！

むし歯・視力・耳鼻喉等、気になることがあれば、早めに受診しておきましょう。特に3年生は子ども医療制度が利用できる3月末までに、計画的に受診・治療することをオススメします。



2月の保健室利用状況

(2/2~2/27 現在)

内科 外科 合計

1年【32】【8】【40】

2年【33】【6】【39】

3年【25】【5】【30】

合計【90】【19】【109】

生徒数が多い割に感染症が流行しなかったのは一人一人感染症対策がしっかりできていたからだと思います。

落ち着いた学校生活を送ることができたようで、ケガの発生件数も少なかったです。

近所の方に救われた父の命 ~近所づきあいの大切さ~



昨年8月の朝「お父さんが倒れています。救急車を呼びます。」と一人暮らしている実家の父の近所の方から電話が入りました。

父は心筋梗塞で一度手術をしており、再発したのではないかと

電話を受けた後は、生きた心地がしない状況で実家の父の元に駆けつけました。

私が到着した時、父は意識朦朧で真夏なのに手足に触れたら氷のように冷たかったのを鮮明に覚えています。即入院・手術となり、一命をとりとめました。

父は、新聞を取って玄関に戻るときに倒れていたらしく、うめき声を聞いた隣に住んでいる人が第一発見者、そして犬の散歩をしていた同地区の人が第二発見者で、二人の近所の方が気づかなければ、父は命を落としていたでしょう。

この経験を通して、近所づきあいの大切さを痛感しました。困った時の助け合いはもちろんですが、詐欺や不審者、勧誘の情報を共有できるといった防犯対策にもなり普段の生活での安全性も向上します。いざという時は頼りになる近所の方に、普段から笑顔で気持ちの良いあいさつを心がけてみませんか？

性教育講演会のご案内 3月13日(木)11:30~12:20 外部講師による講演会があります。1年生対象で、性の多様性についての内容です。講師の方は、保護者の方も多数参加してほしいと希望されています。右のQRコード読み取り、講師の話が聴きたい方は、是非ご参加ください。



生徒指導通信

俺がやらずして誰がやる！！

~やってやれないことはない、やらずにできるわけがない~



先日、部活で鹿児島実業高校サッカー部の育成クラブチームと練習試合をさせていただきました。その選手が練習するピッチに下のような看板が大きく掲げられていました。

鹿児島実業高校サッカー部は、今までたくさんのプロ選手を輩出した、全国的にも有名な高校です。日本代表にも多くの選手が選ばれています。県内大会で優勝 98 回、全国高校サッカー選手権大会出場 23 回、全国高校総合体育大会出場 26 回を誇るなど、輝かしい成績を収めています。

しかし、近年は神村学園高校、鹿児島城西高校など県内でも力を入れ出した私立の高校が勢いを増し、2014 年の全国高等学校総合体育大会を最後に全国の舞台から遠ざかっています。

それでも鹿実に入って、サッカーをがむしゃらに頑張る子どもたちが今もいます（今の高校1年生にも吾田中サッカー部の子が1人進学しています）。

なかなか勝てない現状に、きつと苦しい思いをしているのではないかと思います。色々な評価を周りに勝手にされる事もあるのでしょう。それでも、自分たちの目的、目標を大事にし、鹿実の魂を大事にしていこうとしているのが文章から見えてきて、心が熱くなります！

部分的に表現が時代にそぐわないと感じるところもありますが、KAJITSUの魂を感じて、ここで鍛えられている高校生の姿に感銘を受けました。ここでの経験が彼らの人生の財産になっていくのだろうと、うらやましい気持ちにもなりました。

実際に、宮崎から来た見知らぬ僕らに対しても、立ち止まって深々とお辞儀をし、しっかりと挨拶をしてくれ、また、丁寧に会場を案内してくれました。

僕も負けてられません！俺がやらずして誰がやる！！僕がやるべき事を、僕しかできない事を本気で精一杯やっていきたいです！あと1ヶ月最後までよろしくお祈りします！！！！



これだけやれば勝てる。これだけ努力すれば優勝できる。最後に神様は味方してくれる。そんなことなんてほとんどない。簡単に努力など報われない。簡単に神様は味方には付いてくれない。負けて恥をかき人に大笑いされる。そんなこと勝負の世界にいればよくあることだ。でもそれがなんだ。人に笑われてもいい。人に後ろ指を指されてもいい。悔しいから努力するのだ。笑われたから歯を食いしばって練習するのだ。本物の人間は、相手の立場や地位、名誉や肩書で人を応援しない。良い時も悪い時も同じ態度で応援してくれる。笑われた屈辱を忘れるな。高い壁を登る時の壁がらせに負けるな。もう最後だ。もう限界だ。そう決めた時のあと一歩先に見える景色こそが最高の結果だ。人を妬まず、陰口を言わず多くを語らず男の生き様を見せろ。今までの自分を越えろ。今までのKAJITSUを越えろ。

俺がやらずして誰がやる。

KAJITSU FC